



## 令和2年度 第5回 理事会開催報告

令和3年3月24日(水) 11:00から当機構ものづくりインキュベーションセンターで、今年度第5回理事会が開催されました。滝田理事長他理事9名、監事1名の出席のもと、令和2年度業務執行状況・補正予算や、令和3年度事業計画・当初予算が審議され、原案どおり承認されました。新年度事業計画では、コロナ禍ではあるが、ものづくり企業支援のために積極的な事業展開を図っていくことが議論され、「ものづくりインキュベーションセンター」の活用のほか、産学連携による人材育成事業であるマイスターズ・カレッジの開講等が計画されました。



## 令和3年度重点事業 —ものづくり企業支援のために—

### 1 ものづくりインキュベーションセンターの運営 (新事業創出育成)

「ものづくりインキュベーションセンター」を核に、日本大学工学部等との連携による総合的な支援体制の充実強化に努め、新事業の創出育成、新技術・新製品の開発促進を図る。

### 2 人材育成・研究開発促進 (技術振興事業)

#### (1) 産学連携による中核的人材の育成

圏域企業が持つ技術の高付加価値化、競争力強化に向けて、産学連携により基盤的製造技術の高度化を担う中核人材の育成を図る。

#### (2) 研究開発・事業化支援

技術コーディネーターの企業訪問や他の産業支援機関等との連携により、研究開発や事業化ニーズを把握し、当機構が持つ助成金も活用しながら圏域企業の発展を積極的に支援する。

### 3 起業家育成・起業化支援 (地域技術起業化推進事業)

#### (1) 企業連携 (アライアンス) の促進

「郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議」を中心に、3フォーラムの開催や各企業の技術の「強み」を活かした企業連携による新事業の創出、育成に積極的に取り組む。

#### (2) ICTを核とした産業の振興

公立大学法人会津大学、郡山市及び郡山地域テクノポリス推進機構の三者による郡山市オープンイノベーション (KOI) 会議や、情報関連企業等と連携し、ICTを核とした郡山地域ものづくり企業の振興を図る。

## 郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議 特別講演会

### 材料化学を基盤とする産学連携研究

令和3年3月17日(水) 午後3時から郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンターを会場にアライアンス形成会議としては5度目となる特別講演会(会員以外の方も参加可能な講演会)を開催しました。

今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から Web 方式を基準とし、会場参加者は当形成会議役員と事務局のみとして開催しました。

ご講演いただいた日本大学工学部 工学部長 根本修克氏は、「材料化学を基盤とする産学連携研究」をテーマに自身の研究及びそれらを基にした産学連携の実例についてご講演いただきました。

講演会には、企業や支援機関等約45名が参加し、現在に至るまでの先生の研究等、講演に耳を傾けていました。

今後も、コロナ禍ではございますが、対策を講じた事業を開催いたしますので、よろしくをお願いします。



## 今月のコラム (管理員兼技術コーディネーター 佐藤幸幸)



今回は、若手起業家で積極的に取り組んでいる「株式会社エムケー技研」をご紹介します。

入居3年目に入った株式会社エムケー技研は、2018年5月に創業し、翌年の4月 研究開発拠点をインキュベーションセンター3号室に置いて事業を推進しています。

諸根理仁代表取締役社長は、日本大学工学部大学院を修了後、大手電機メーカーへ就職しましたが、エンジニアの技術力で地方の会社の研究開発を支援したいとの思いから地元へ戻り、大学時代の同期・古泉賢人氏とともに株式会社エムケー技研を設立しました。会社名「エムケー技研」の由来は、諸根 (M) のエム、古泉 (K) のケーの頭文字から社名としたそうです。

現在は、単一乾電池2本で動く省電力型の「屋外定点監視システム AiMO」や、監視カメラとクラウド型サーバーを組み合わせた「中小河川向けのクラウド型水位計」、複数の監視カメラの一元管理が可能で、顔認証など AI を活用した高度な監視にも対応出来る「多拠点向け監視システム PAVO」など、積極的に自社製品の開発に取り組んでおり、地域に根ざしたIT企業として、今後の更なる飛躍を期待しております。

次回は、「アルミ発電機」を開発し販売までこぎつけた「株式会社プロトンシステム」をご紹介します。

